

番 号	1230148			論 文	妖 怪 幽 霊
				報 告	怪 異 その他
共通名	ヨミ		呼 称	ヨミ	
				船幽霊	
出 典	書名・誌名 (5 巻 6 号 / 通巻 54 号) 旅と伝説 論文名 (10) 頁 ~ (12) 頁 船幽霊 掲載箇所 (10) 頁 ~ (12) 頁			執筆者 小寺融吉 話者 (引用文献)	発行年月日 (西暦) S 7 年 6 月 1 日 (1932 年) 発行所 三元社
地 域 (旧 名)	都・道 市 区・町 茨城 府・県 郡 村 霞ヶ浦 () () () 都道府県コード 市町村コード				
特 徴	時代		出現季節・時刻		
	出現場所・方位		正体		音
	色	大きさ	体験談・伝聞・昔話・伝説・神話・諺その他 ()		
霞ヶ浦の三叉沖を雨の夕方船が通ると、幽霊船が浮かび上がり「柄杓貸せ」と手を伸ばす。柄杓を投げてやると「幽霊友を呼ぶ」といいながら柄杓で船に水を注がれて沈められる。ここを通る船は底の抜けた柄杓を用意しているという。					

霞ヶ浦の三叉沖

霞ヶ浦の三叉沖は、船乗の嫌がる場所である。雨のしとしと降る夕方に、ここを通る船があると、必らず濡れそぼれた船幽霊がフーッと水面に浮び上ってくる。そして細い、細い、恨めしげな聲を出して、「柄杓貸せ……柄杓貸せ……」と手を伸べる。これを見ると船頭は氣まうはの空になつて、思はず柄杓を投げてやる。すると「幽霊友呼ぶ……」と云ひながら、柄杓で舟に水を注ぎ込む。そして船は見る間に水底深く沈められて、乗つてゐた者は、幽霊の友達にされてしまふ。だから此處を通る船は、底の抜けた柄杓を用意してゐるさうだ。